【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年3月17日(2025.3.17)

【公開番号】特開2025-16606(P2025-16606A)
【公開日】令和7年2月4日(2025.2.4)
【年通号数】公開公報(特許)2025-021
【出願番号】特願2024-189529(P2024-189529)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ 16/30(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/02(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 7/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ 16/30 ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ 35/02
Ａ６１Ｐ 35/00
Ａ６１Ｐ 7/00
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｕ
Ｃ０７Ｋ 16/30

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月6日(2025.3.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
個体におけるＨＬＡ－Ｅを発現する癌の治療における使用のための医薬組成物であって、前記医薬組成物が、ＮＫＧ２Ａに結合し、かつその阻害活性を中和する抗体（抗ＮＫＧ２Ａ）を含み、ここで、前記抗体がＮＫＧ２Ａとの結合についてＨＬＡ－Ｅと競合し、かつ前記治療が前記個体に前記組成物を少なくとも一回の投与サイクルについて投与することを含み、ここで前記サイクルは、前記組成物が、２回の相継ぐ投与間および治療サイクル全体を通じて、少なくとも１００μｇ／ｍｌの抗ＮＫＧ２Ａ抗体の持続血中濃度を維持するために、少なくとも二回かつ有効な量で投与される、かつここで抗ＮＫＧ２Ａ抗体が、配列番号３に示されるアミノ酸配列を有する重鎖のＣＤＲ１、ＣＤＲ２、およびＣＤＲ３ドメイン、ならびに配列番号７に示されるアミノ酸配列を有する軽鎖のＣＤＲ１、ＣＤＲ２、およびＣＤＲ３ドメインを含む、医薬組成物。
【請求項２】
前記組成物が、１ヶ月当たり２回投与される、請求項１に記載の使用のための医薬組成物。
【請求項３】
前記組成物が、静脈内に１ヶ月当たり２回投与され、かつ投与される抗ＮＫＧ２Ａ抗体の量が、体重１ｋｇ当たり６～１０ｍｇである、請求項１または２に記載の使用のための医薬組成物。
【請求項４】
前記治療が、負荷期間とその後に続く維持期間とを含み、前記負荷期間において前記組

成物が、前記組成物の次の相継ぐ投与まで少なくとも１００μｇ／ｍＬの前記抗ＮＫＧ２Ａ抗体の持続血中濃度を維持するのに有効な初期用量で少なくとも１回投与され、前記維持期間において前記組成物が、相継ぐ投与間で少なくとも１００μｇ／ｍＬの前記抗ＮＫＧ２Ａ抗体の持続血中濃度を維持するのに有効な第二の用量および頻度で少なくとも２回投与される、請求項１－３のいずれか一項に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項５】

前記組成物が、静脈内に投与され、かつ前記負荷期間が、前記組成物を体重１ｋｇ当たり８～１０ｍｇの抗ＮＫＧ２Ａ抗体の用量で１回投与することを含み、かつ前記維持期間が、前記組成物を体重１ｋｇ当たり２～６ｍｇの抗ＮＫＧ２抗体の用量で約２週間の間隔で少なくとも２回投与することを含む、請求項４に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項６】

癌が充実性腫瘍である、請求項１－５のいずれか一項に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項７】

癌が結腸癌、卵巣癌、および子宮頸癌からなる群から選択される、請求項１－６のいずれか一項に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項８】

癌が頭部および頸部扁平上皮癌である、請求項１－６のいずれか一項に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項９】

前記抗ＮＫＧ２Ａ抗体が抗ＥＧＦＲ抗体と併用して投与される、請求項１－８のいずれか一項に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項１０】

癌が肺癌である、請求項１－６のいずれか一項に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項１１】

前記個体が、白血病、急性リンパ性白血病、慢性リンパ性白血病、急性リンパ芽球性白血病、Ｂ細胞リンパ腫、Ｔ細胞リンパ腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫、有毛細胞リンパ腫、バーキットリンパ腫、多発性骨髄腫、急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、前骨髄球性白血病および骨髄異形成症候群からなる群から選択される血液癌を有する、請求項１－５のいずれか一項に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項１２】

前記抗ＮＫＧ２Ａ抗体がヒトＩｇＧ４定常領域を含み、ここで前記抗体がヒトＦｃγ受容体との結合を減少させるアミノ酸修飾を含むＦｃを遺伝子的に操作された定常領域を含むか、または前記抗体フラグメントがＦｃドメインを欠く、請求項１－１１のいずれか一項に記載の使用のための医薬組成物。